

4.配置計画

(1)土地利用計画

- ・敷地の中の空地になっている南西側の職員駐車場に新病院を建設します。
- ・新病院の東側に一般駐車場 88 台(車いす用駐車場 2 台含む)、北側に職員駐車場 68 台、事務棟西側にサービス用駐車場 10 台を配置します。
- ・一般駐車場への車両動線は、昭和通から入り沼貝線へ出る一方通行とし、安全を確保します。救急車、サービス車両の出入は昭和通からとします。
- 通学路となっている昭和北線、幅員 4mの昭和西1号線への出入口は緊急用とし、平時は利用しない計画とします。
- ・新病院の南側、事務棟の北側には緑地スペースを確保します。
- ・敷地にはゆとりをつくり、降雪時の堆雪スペースを確保します。

(2)動線計画

- ・敷地内は歩車分離を原則とし、車両動線は一般用と救急車・サービス用が交錯しない計画とします。
- ・新病院の正面玄関は東側に設け、近接して車いす用駐車場を配置します。また、正面の車寄せには正面玄関の大きな庇により、来院者の降雨・降雪時の利用にも配慮します。
- ・一般駐車場内の歩行者の安全に配慮し、車室間に歩行スペースを確保します。
- ・救急車動線、サービス車両動線は来院者の動線と分離して配置し、動線が交錯しない計画とします。

○整備手順

- ①西側駐車場、西側緑地帯を駐車場として再整備。
- ②新病院建設
- ③現病院解体
- ④一般駐車場、職員駐車場整備

